

## ◆今期間のポイント

## &lt;主要じょう乱の概要&gt;

- 19日は、低気圧が本州付近を通過して日本の東に進み、低気圧から前線が日本の南にのびる。別の低気圧がオホーツク海に進む。
- 20日は、低気圧がサハリン付近で発達し、黄海の高気圧が日本海に張り出す。前線が21日にかけて日本の南で停滞する。
- 21日は、高気圧が日本海から日本の東へ移動するが、黄海付近の高気圧は22日にかけて留まる。
- 22日から23日にかけて、低気圧が日本の東に進み、23日は高気圧が日本海西部に移動する。

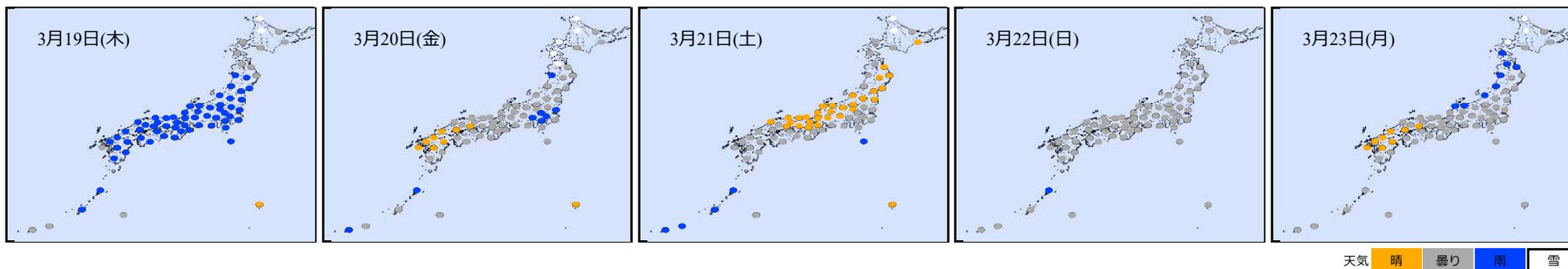
## &lt;防災事項&gt; 11時、17時発表の早期注意情報に合わせて当項目は修正する場合があります。

- なし。

※最新の早期注意情報、気象情報、台風予報も参照ください。

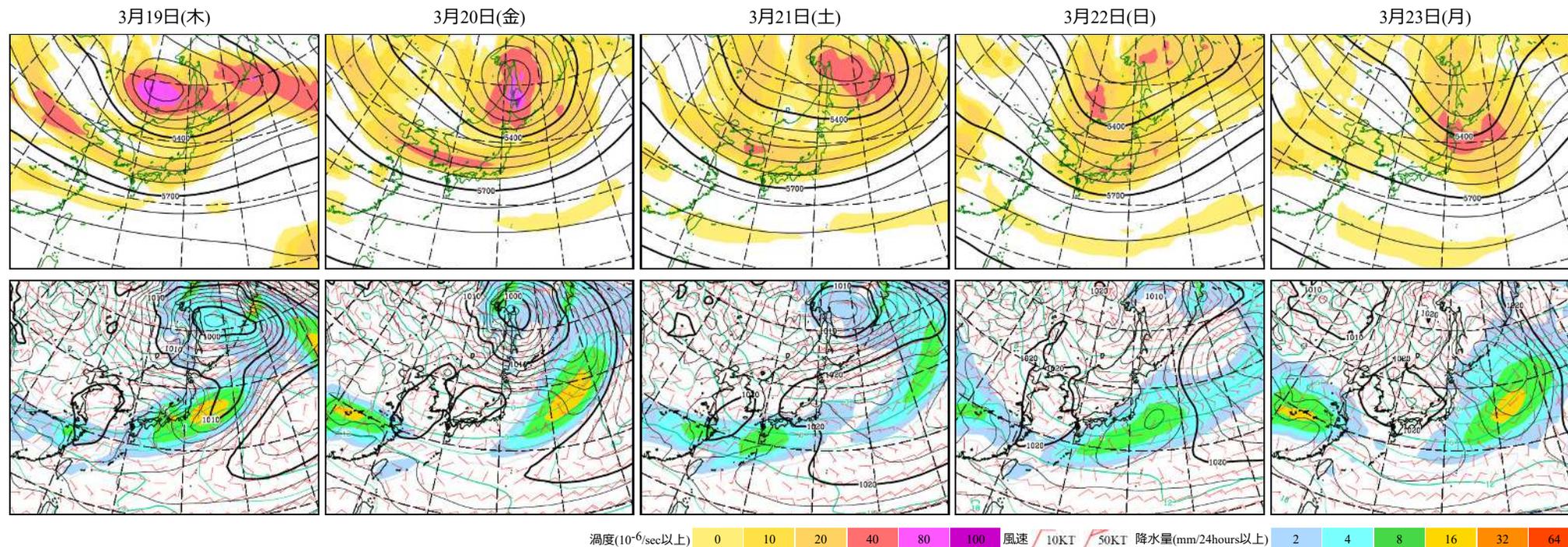
以下の資料は、気象事業者等が、気象庁の提供する週間天気予報の根拠を理解するための補助資料であり、そのままの形式で一般に提供することを想定して作成したものではありません。

## ◆10時時点の3～7日目の天気予報案 (11時以降は気象庁HP等にて発表予報をご利用ください。)

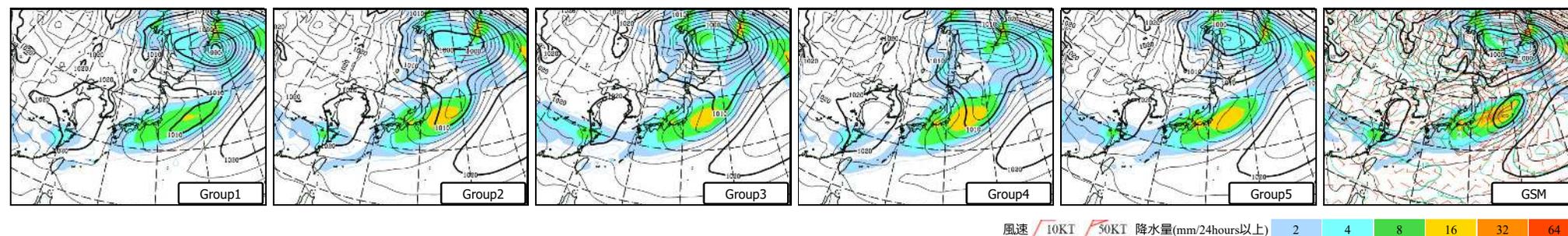


- 北日本と東日本日本海側は、曇りや雨または雪の降る日が多いが、21日は晴れる所がある。
- 東日本太平洋側は、雲が広がりやすく19日から21日にかけて雨の降る所がある。
- 西日本は、19日は雨の降る所が多いが、その後は曇りや晴れとなる。
- 沖縄・奄美は、曇りや雨の降る日が多い。

◆アンサンブル(ENS)平均予想図 上図：500hPa高度線、渦度 下図：海面気圧、地上風、前24時間降水量(21時)



◆3月19日のENSクラスター平均(グループ1~5)とGSMの地上予想図 海面気圧、地上風(GSMのみ)、前24時間降水量(21時)



◆昨日資料からの変化と予想のばらつき

- 最新のアンサンブル資料(ENS)は、19日は日本の東で気圧の谷が深くなったが、オホーツク海の低気圧は北海道から離れる傾向となった。このため、北海道付近の降水確率ガイダンスの値が小さくなった。
- モデル間の差は、20日までは小さいが、その後は寒冷渦やトラフの進み等にばらつきが見られる。
- スプレッドは比較的小さいが、特定高度線のばらつきが見られる。

◆ENSからの修正点とサブシナリオ等の補足事項

- 予報は、おおむね最新のENSを基に考える。